

# ムーブ学生活動 プロジェクト

## ムーブフェスティバル 北九州に恋べんとう 笑顔でキャラ弁コンテスト

このイベントには、広報活動や運営のスタッフとして参加しました。

コンテストの参加者には学生や若いママ・パパが多く、幅広い世代の方々に食育の重要性などを発信することができました。またボランティアとして参加した九州女子大学・九州共立大学の学生との交流も図ることができました。

## 恋愛観を語り合おう! LOVEMEETING!!!

7月14日(土)

8月からは「若者の目線で、若者に発信していく」ことを目的としたイベントの開催に向けて、企画を開始しました。どのような企画がよいか、検討に検討を重ねた末、「お互いの個性を尊重することの重要性を考えることで、デートDVの防止へつなげていく」という目的のもと、大学生などを対象に現代の恋愛観について同じ立場で自由に語り合う「恋愛観を語り合おう! LOVEMEETING!!!」を開催することに決定しました。

イベントの広報には従来どおりのチラシ配布だけでなく、Facebookも活用しながら、より多くの学生へ情報発信をしました。イベント当日は、「恋人に求めるモノは??」「2人の“いい恋”が続くヒケツは??」をテーマに、北九州市近郊の4大学、約20名の男女がワールドカフェ方式で「自分が思う恋愛観」を共有しました。様々な恋愛観、異なる価値観が出され、お互いを認め合うことの重要性を認識するとともに、他大学との交流の場としても有意義なものとなりました。参加者からは「またこんなイベントに参加したい!」という声を多数いただき、ムーブを取り巻く若い世代のネットワーク形成にもつながっています。



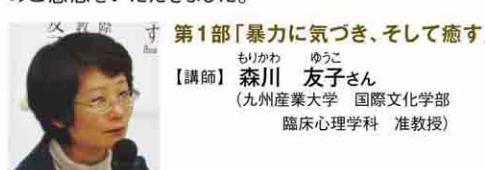
## 2012年度 女性への暴力ゼロ運動

ムーブでは、昨年に引き続き、国の「女性に対する暴力をなくす運動」(11月12~25日)、「女性に対する暴力撤廃国際デー」(11月25日)にあわせて、DV(ダメスティック・バイオレンス)や性被害、セクシュアル・ハラスメントなど女性への暴力をなくすための特別イベントを実施しました。

●11月1日(木)~30日(金) ムーブ1階交流広場内 「デートDVについて知ろう!」パネル展示  
デートDVって何?、どう予防するの?などをイラスト入りのパネルで展示しました。

●11月12日(月) 16:00~17:00 「女性に対する暴力をなくす運動」街頭啓発キャンペーン  
ムーブでは、福岡県や関係機関等と連携をし、小倉駅でDV防止キャンペーンのチラシ、ノベルティを配布しました。

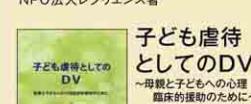
●11月17日(土) 14:00~17:00 特別講座「暴力に気づき、そして癒す」  
今年度は、女性への暴力やそれに気づく力に目を向け、傷つきを癒すことをテーマにしました。  
講座では講義に加え、参加者が実際に癒しを体験するワークを行いました。参加者からは、「自分自身が癒された。法的にできることや、心の回復のためにできることを学びました」「ワークを体験できて良かったです」などのご感想をいただきました。



●11月20日(火) 10:00~17:00 弁護士、相談員による「女性への暴力ゼロ!ホットライン」

共催 福岡県弁護士会北九州部会・北九州市配偶者暴力相談支援センター・北九州市  
弁護士、子ども・家庭相談コーナー相談員、ムーブ相談員が電話で対応しました。相談件数23件のうち、過半数がDVに関するものであり、市外、県外からも広く相談が寄せられました。

### ムーブ相談室 おすすめDV関連図書



ムーブ叢書  
ジェンダー白書9

## アクティビシニアが日本を変える

今年度のムーブ叢書は、「アクティビシニア」をテーマに刊行いたします。

これは世界に先駆けて超高齢社会を迎える日本において、団塊世代を中心とした、仕事に、趣味に、学びに意欲的で積極的なアクティビシニアの活動が、日本社会の価値観やシステムにどのようなパラダイムシフトを起こすのか、予測、展望したものです。ぜひ、ご一読ください。

### ◆執筆者<敬称略・掲載順>

山田昌弘、安立清史、溝田弘美、倉田操、古久保俊嗣、遊間和子、野内類、堀池喜一郎、中原弘子、山本貴代、関根千佳、香山リカ、辻哲夫

3月末  
発行予定

### 【お求め・お問い合わせ】

北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 1階 図書・情報室  
TEL/FAX 093-583-5082  
E-mail move@move-kitakyu.jp

北九州市立  
男女共同参画センター・ムーブ編  
明石書店刊 A5判  
定価 1,500円(予定)

## 「日本のポップカルチャーはCool!?」

平成24年12月15日(土) 14:00~15:30 ムーブ5階 小セミナールーム

平成23年度発行の『ジェンダー白書8ポップカルチャーとジェンダー』の執筆者の中から3名を講師に招き、日本のポップカルチャー、特にマンガとポップスについて話ををしていただきました。

### 「ル・ジャポンがカッコいい」

すぎもと  
杉本バウエンス・ジェシカさん  
(京都精華大学国際マンガセンター研究員)



ヨーロッパ、特にフランス語圏のBD(バンド・デシネ、フランス語圏のマンガ)とアメリカのコミックスにおける日本人や日本の描かれ方の違いや、特にフランスにおけるマンガについて話ををしていただきました。

BDは作者も含め男性中心の業界であり、読者は男子や子どもが中心で、女子の多くは思春期になると離れていきました。ところが、日本のマンガブームの到来によりBDを読まない女子も日本のマンガや特に少女マンガを読むようになりました。また、近年フランスでは女性マンガ家が活躍しています。

### 「着うたクイーンから踊る少女軍団へ」

こいづみ きょうこ  
小泉 恵子さん (大妻女子大学 社会情報学部准教授)

アイドルから歌姫(ディーバ)、着うたクイーン、踊る少女軍団へと変化し続ける日本のポップスの変遷を、携帯電話の普及の影響や、ケータイ小説との親和性、キーワード(「自分探し」「自分忘れ」)、女子の行動を通して話していただきました。

70~80年代の女性アイドル歌手のファンはほとんどが男性でした。しかし、今は、女子が女子に感情移入し、ハマる時代になりました。音楽の場合は場の空気、ノリの共有というのも大切な要素です。

### 「北九州市漫画ミュージアムと日本のマンガ」

おもて ともゆき  
表 智之さん (北九州市漫画ミュージアム専門研究員)

公的施設としての北九州市漫画ミュージアムの役割や日本におけるマンガの位置付け、マンガの役割、マンガと社会との関わりなどについて話していただきました。

日本には、あらゆる年代、性別、趣味に向けたマンガがあり、日常的に消費されています。マンガは構えずに読むことができるため読者に浸透しやすく、悪影響(暴力、性的表現など)を及ぼすこともあります。またジェンダーに関することも気づかないうちに浸透している場合もあるので、再精査することも必要かもしれません。

3人によるトークでは、マンガ、音楽とジェンダーとの関わりや、日本と外国との違いなどについて話していただきました。



## 第6回「北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰」受賞者決定!!

少子高齢社会において、子どもを産み育て、男女がともに働く喜びを感じることができる社会の実現は、企業と行政が協働で取り組むべき重要な課題です。誰もが多様な働き方や暮らし方を選択でき、活力ある豊かな社会を実現するため、北九州市では、子育て支援や男女がともに働きやすい環境づくりなど、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進に取り組む企業・団体・個人を表彰し、その取組内容を広く皆様にお知らせしています。この度、平成24年度第6回の表彰者を下記のとおり決定し、去る11月22日北九州市役所にて表彰式を行いました。

企業・ 団体 部門	市長賞	株式会社 ソルネット	充実した休暇制度の利用促進や長時間労働の是正、定期的な社員満足度調査の実施など、働きやすい職場環境を整備している。
		株式会社 陽和	会社負担による人間ドック受診制度やメンタルヘルス相談の実施、有給休暇の一斉取得の制度化など、従業員満足度を重視した取組みを行っている。
	奨励賞	株式会社 ゴトウ	従業員の心身の健康増進や子育て参画促進を図るため、有給休暇を取得しやすい仕組みづくりや、従業員の問題改善提案制度の導入など、現場の声を生かした働き方の改善を行っている。
		時計・宝石・めがねのヨシダ	トップと従業員との信頼関係に基づき、子育てや介護など個人の事情に配慮した柔軟な勤務体系を構築している。また、老舗の小売店として、清掃活動などの地域貢献活動にも積極的に取り組んでいる。
個人部門	市長賞	いとう はつえ 伊藤 初江	職場での社会貢献活動をはじめ、私生活でも難病者支援活動やコミュニティボランティア活動などに取り組み、充実した生活を実践している。
		すぎい りょうぞう 杉井 隆造	休日を利用して、家族と一緒に13年かけて手作りで家を建てたマイホームパパ。家事や子育てを共働きの妻と分担し、地域活動にも積極的に携わる。
	奨励賞	ありま ひろみ 有馬 広海	仕事での知識を生かして、健康教室でのボランティアやPTA活動等の地域活動に取り組む一方、家族と充実した時間を共有している。
		みなみ みづこ 南 充子	ホームヘルパーとして活躍しながら、ボランティアで講師を務め、後輩の育成に携わる。地域活動や自己啓発にも取り組むパワフルウォーマン。
		もとしげ かよ 元重 香代	整理収納アドバイザーとして、「物」の整理は「心」を整理することと発信し続けながら、仕事と生活の好循環を実践し、様々な相談にも応じている。

## 「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーン」を実施しました



北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会と北九州市では、11月を「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進月間」として、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の意義や必要性を広く市民や市内事業所等に理解していただくため、「ひろげよう!ワーク・ライフ・バランス」をテーマにキャンペーンを実施しました。

今年度は、市民の皆様のワーク・ライフ・バランスを応援するため、昨年度作成した「明日へのハーモニー～ワーク・ライフ・バランス～」の歌に合わせた体操を作成し、様々なイベントでPRしました。また、北九州市出身で俳優のつるの剛士さんを応援サポーターに起用し、ポスター等への応援メッセージの掲載やラジオ番組でのトークイベントなど、様々な広報啓発事業を行いました。

企業向け講演会では、千葉県で不動産管理会社を経営しながら、従業員と一緒に地域貢献活動などにも積極的に取り組んでいる野老真理子さんと、ワーク・ライフ・バランスの第一人者、渥美由喜さんにお話を伺いました。

「地域活動は企業の販売促進活動」「気づく訓練が大切。気づいたらまず行動を」などの講師の言葉に、参加者からは「ワークはライフの一部。地域貢献がワーク・ライフ・バランスにつながっているというは新しい考えだった」といった感想が寄せられました。



起業祭でのアイドルグループLinQによるPRイベント



企業向け講演会 講師:野老真理子さん 渥美由喜さん

【お問い合わせ】  
北九州市子ども家庭局  
男女共同参画推進部  
TEL.093-582-2405  
はじめよう!ワーク・ライフ・バランス  
<http://wlb-kitakyushu.jp/>  
(北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会)



第23回  
アジア女性会議一北九州

(財)アジア女性交流・研究フォーラムからのお知らせ

国際理解セミナー

## KFAW領事館シリーズ2 「アメリカ人の働き方」

在福岡アメリカ領事館のマイケル・チャドウィック広報担当領事を講師に迎え、アメリカ人の働き方と、ワーク・ライフ・バランスなどについて、日本との比較を交えながら、お話をいただきました。アメリカは多民族国家ゆえの問題も多くありますが、人種、民族、宗教、文化などさまざまなバックグラウンドを持つ人びとが同じ職場で働くことが、新たなアイデアを生み出すきっかけになるとのことでした。年齢、性別を問わず多様性のある職場環境を実現することが、社会全体の利益につながるのではないかとのお話をありました。

今後も順次、各國領事の講演を予定していますので、お楽しみに!

(財)アジア女性交流・研究フォーラム  
TEL.093-583-3434  
FAX.093-583-5195  
URL. <http://www.kfaw.or.jp/>



## 「力を合わせよう 女性、女児への暴力をなくすために」

11月10日(土)北九州市男女共同参画センター・ムーブにおいて、第23回アジア女性会議一北九州を開催しました。

基調講演では、女性への暴力をなくすことを目指して、男性が男性に呼びかける国際的な運動を行っている組織「ホワイトリボンキャンペーン」の英国理事クリス・グリーン氏に講演をいただき、続くパネルディスカッションでは、韓国、日本で活躍している専門家を加えて、国際的な動向、ヨーロッパや韓国、日本が女性に対する暴力に対してどのような取り組みをしているのか、暴力が発生する背景には何があるのかなど、課題を浮き彫りにし、暴力のない社会づくりについて議論しました。

※詳細は、『Asian Breeze』No.67  
(2013年2月下旬発行予定)に掲載しています。



## 平成24年度 九州・沖縄地区男女共同参画センター等会議

9月27日(木)～28日(金)

九州各県・沖縄県並びに政令指定都市及び市町村が設置している男女共同参画センター等を対象に、各センターの課題や事業の運営等についての検討並びに情報の共有、連携を深めることを目的に開催されたものです。今年度は31のセンターから60名を超える参加がありました。

国立女性教育会館前理事長神田道子さんの基調講演「今、男女共同参画センターに求められるもの」を受け、2日間にわたり、一般部門、相談部門に分かれ、5つの課題別検討会を実施し、活発に意見を交換しました。



## 3月8日は 国際女性デーです。

ムーブでは、国際女性デーを記念して「女子差別撤廃条約」をわかりやすく解説したパネルの展示をします。



この「お母さんが語る女子差別撤廃条約」のパネルは貸し出しています。

大 B2サイズ 小 A3サイズ(各全19枚)

詳しくはHPまたは情報課まで

TEL.093-583-5082 <http://www.kitakyu-move.jp/>

## レディスもじからのおしらせ

レディスもじ 開館26周年記念講演会

## 「男女(とも)に生きよう!多様な社会」

これから私たちの暮らしはどう変わるのか!男女共同参画の視点に立って講演していただきます。

日 時 平成25年4月14日(日)  
13:30～15:00 (12:30開場)

講 師 報道記者・解説委員・コメンテーター



杉尾 秀哉さん

対 象 一般市民どなたでも

定 員 300名(先着順)

参 加 費 用 無料

託 児 あり(1歳以上就学前まで)申込み時にご相談ください。

申 込 方 法 3月3日(日)9:00から電話または来館で受付。

## 北九州市立東部勤労婦人センター・レディスもじ

〒800-0051 北九州市門司区下馬寄6番8号

TEL.093-371-4649 FAX.093-371-4268

<http://kinroufujin-kitakyu.jp/moji/>

## レディスやはたからのおしらせ

レディスやはた 開館36周年記念講演会

## 「自分らしく生きるために」

~何かに挑戦するのに、遅すぎるということはない~

自分らしい生き方や男女のあり方について等、多くのエピソードを交えて、楽しく分かりやすい内容でご講演いただきます。

日 時 平成25年5月25日(土)  
13:30～15:00(13:00開場)

講 師 ノンフィクション作家



吉永 みち子さん

対 象 一般市民どなたでも

定 員 200名(先着順)

参 加 費 用 無料

託 児 あり(1歳以上就学前まで)  
申込時にご相談下さい。

申込方法 4月3日(水)9:00から電話または来館にて受付。

## 北九州市立西部勤労婦人センター・レディスやはた

〒805-0059 北九州市八幡東区尾倉二丁目6番6号

TEL.093-661-1122 FAX.093-661-2714

<http://kinroufujin-kitakyu.jp/yahata/>

指定管理者 (財)アジア女性交流・研究フォーラム